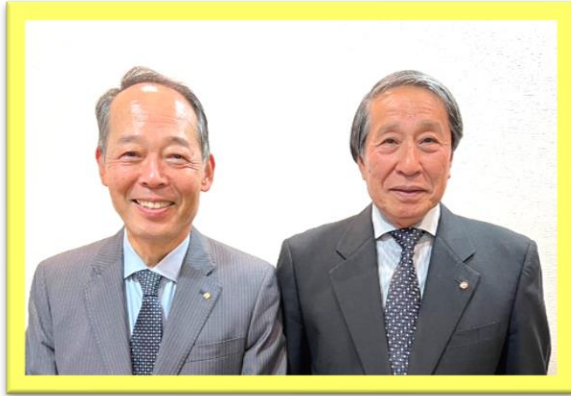




世界に希望を生み出そう

草加松原ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう



10月10日の例会記録

◆ 会長あいさつ 山崎秀美会長

皆さんこんばんは、いよいよ10月、以前は「経済と地域社会の発展月間」といっていたと思います。最近そこに米山月間が加わりましたようでございます。米山奨学生は、自費で日本に勉強に来ている学生に大学生は10万円、大学院生は14万円を月にいただいて、勉学に励んでいる。過去に日本に勉強に来て結構有名な学者になっていたり、有力な活動をされている方が多くいるそうです。その卒業生、「学友」と言うのですが「学友会」を作って、アジアには10くらい学友会はあるそうです。日本にも主だった地区に「学友会」があると言う状況です。

もともとロータリーとは関係なく、米山梅吉さんを記念してできたようですが、自費で来ている学生に奨学金を寄与することのよって、勉学しやすい環境を作った言う意味では、素晴らしい功績があるのではないかと思います。

先週理事会がありました。10月22日は「ふささら祭り」が開催されます。今年度は1日だけという事で22日日曜日です。そこで当クラブは、以前から「黄色いハンカチ運動」をやっています。例えば心臓疾患のある方などは、既往症をしっかりと書いておき、外に出る際に発作など起きた際に、ハンカチを振って周りの人に知らせ助けを求める。過去にこのハンカチのお陰で命が助かったと言う方が何人もおられたという活動なのですが、佐藤わかばさんと言う「黄色いハンカチ本

第545回 例会 10月17日 中央公民館

＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

卓話 渡辺直之の会員
「証券と経済について」

部」の方が、今年3月に亡くなられたことで、そこからハンカチを購入していたので購入できなくなりました。在庫は200数枚、今回の「ふささら祭り」で配り終える形になります。今後は「黄色いハンカチ運動」をクラブとして継承していくかを考えていく形になります。そのためにも「黄色いハンカチ運動」はどのようなものを新しい会員の皆さまには経験をしていただいて、今後継続していくべきか、終了しても良い活動かを皆さんと一緒に判断していただきたいと思います。22日の詳細は後ほど社会奉仕委員長の方から報告があると思います。会長あいさつは以上です。宜しくお願い致します。

今後のプログラム

10/24 卓話 安田洋介会員	今様本陣
10/31 卓話 大塚嘉一会員	中央公民館
魏 莎莎さん	
11/7 地区大会に振替	レイボックホール

10月10日 ニコニコBOX

金額	20,000円	累計	324,000円
----	---------	----	----------

10月10日 出席報告

会員総数	34	出席	17
出席免除	3	MU	2
出席適用	31	出席率	61.29

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：山崎 秀美
幹事：会田小弥太

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp





私の職業と職業理念

(学法)青徳学園 青徳幼稚園理事長 圀田一人会員

こんばんは、「私の職業と職業理念」ということですが、今までの人生経験から今の職業理念に至りますので、自分の生い立ちから、今の仕事に就く経緯と幼稚園を経営しているうえでの思いなんかをお話していきたいと思ひます。

1972年(昭和47年)第2次ベビーブームに生まれました。その当時母の実家がありました千葉県稲毛市の病院で生まれました。すぐ下に弟が1年後に生まれましたので幼少期は祖母と稲毛市で過ごしていた事を長かったように記憶しています。その後、現在経営しております幼稚園に入るのですが、その当時から音楽を中心とした教育を行っておりましたので、当時ハーモニカの練習で時間を割いていたことを覚えています。その後、地元の川柳小学校に入学をするわけですが、ベビーブームで人数が多かったため、たしか4年生だったと思ひますが、新しく青柳小学校が開校したのですが、それまで仮設のプレハブで授業を受けていた記憶がございます。小学校時代はサッカーブームで時間があればサッカーをして遊んでいた記憶があります。その後中学校に進学をするのですが、地元の中学ではなく、台東区立下谷中学校に入学しました。今現在は合併をして学校自体は存在しているのですが、名前は変わってしまっています。駅で言ひますと日比谷線の入谷駅から通学していました。都内の学校と言う事でグラウンドが狭く、サッカーが好きだったのでサッカー部に入ろうと思ひていましたが、サッカー部がなく、迷っていたところ、バレーボール部入部致しました。バレーボール部の最高成績は2年時にレギュラー入りさせていただきましたが、台東区大会優勝、東京都大会1回戦敗退というのが聖跡です。3年時は副キャプテンを務めさせていただきましたが、台東区大会決勝で敗退し、台東区準優勝で終わりました。

高校は日本大学第一高校に入学をしたのですが、バレー部では自分は身長が足りないと思ひたので、当時人気があった番組で「スクールウォーズ」というドラマがあったのですが、その影響からラグビー部に入ろうと思ひていましたが、同好会しかなかったため、友達から誘われてアメリカンフットボール部に入部しました。

1, 2年時は、部活に明け暮れましたが2年の時に慢性的な腰痛が発症し、受診したところ「腰椎すべり症」と診断され、医者から「コンタクトスポーツ」は避けた方がいいということで退部の道を選びました。

進学に関しては、付属とはいへ、当時夜間の2部も入れて半分が日大に進学できればいいとのレベルだったため希望の学部となるとかなり上位にいなければならず、現役での進学はかないませんでした。

そこから浪人生活が始まります。体育大を目指していたので西船橋の予備校に通いながらスポーツジムで体作り、腰痛の通院をして1年を過ごしていました。そして新たな志望校であった順天堂大学体育学部合格し、進学することができました。

浪人時代は、1年間は腰痛を緩和するために、通院しながらスポーツクラブで腹筋背筋を鍛えていたおかげで腰痛も軽減され、念願のラグビー部に入部することができました。しかし、経験者が大多数だったのでレギュラー採りはかないませんでした。4年間ラグビーができてよかったと思ひています。

大学の講義内容も専門的で、器具を付けてランニングマシンを限界まで走り換気量の数値を測定する。今考えてもきつかったです。また、自分の血液を顕微鏡でのぞいて赤血球数を数えたり、解剖実習では順天堂医学部がお茶の水にあるのですが、医学部へ出向き医療のために献体されているご遺体の内臓の位置を確認しながら、収めていくという大変貴重な体験をさせていただきました。

大学の教授も名の知れている教授がいました。当時「箱根駅伝陸上部」の監督だった沢木さんが陸上の指導してくれたり、「水泳金メダリスト」の鈴木大地さんが水泳の指導してくれたり、かなり有名な人から指導していただきました。学生も有名どころでいうと、サッカー元日本代表の名波浩さんと同級で同じ講義をうけたりと、順天堂に入学していなかったら、お会いすることもなかった方たちの指導していただいたことは大変貴重な体験でした。

部活引退後も順調に卒業単位はクリアできたものの就職氷河期で就職が決まらず、やっと決まった外回りの営業の会社に決まり仕事に就いたのですが、半年たったあたりから会社への不信感から、転職を考えていたところ大学の同期会があり消防の道へ進んだ仲間の話を聞いているうちに、消防の道を目指そうと決意し、会社を辞めアルバイトをしながら消防を目指し、草加市の消防署に受かることができました。消防人生が始まります。

消防署の職員になって半年間は、鴻巣にある消防学校に入校して埼玉県の各消防本部から新しく採用された職員が全寮制で6か月間基礎知識や訓練を受けなければいけないのですが、学校生活では時間に関して大変厳しく、講義や訓練には始まる5分前には、着席または整列完了して教官を待っていないとダメ。また、服装の乱れにも厳しく指導され、毎週月曜日朝7時に通常点検がある。制服制帽で2列ずつ3クラスあったので、6列横隊になって教官から服装のチェックを受けます。乱れや手帳の出し遅れがあると点検後注意箇所があった数だけグラウンドを走るというペナルティが課せられます。なんでそんなに服装や時間に厳しくするのか考えてみたのですが、服装の乱れや時間にルーズになると仕事に影響が出ます。彼らが仕事に影響が出るという事は命に係わります。その時の経験が今も仕事にも生かされていて、幼稚園でも大切な命をお預かりしているので事故が起きないように、先生たちにも服装の乱れや時間に関しては口を酸っぱくして指導しています。

6か月間消防学校で徹底的に仕込まれて、卒業後に現場に出るのですが、いろんな現場を見てきました。

今でもいろんな現場を思い出しますが、肉体的にも精神的にも過酷な仕事だと今でも思ひていますし、消防職員として働いている方たちに敬意を表します。

消防仕事を始めて7年目のときに、消防で骨をうずめようと思っていたのですが、人生最大の転機が起きます。実家の幼稚園が父の借金で競売に掛かってしまっておりまして。やむなく消防を退職し、そこから父の友人の助けを得ながら幼稚園を買い戻す作業が始まります。まず融資してくれる銀行に掛け合ってくれて、幼稚園の保護者の皆さんから署名をいただいて銀行は融資が決まったのですが、銀行からお金を借りるには担保がないといけません。個人の借金なので幼稚園の土地を担保とすることを県庁許してくれませんでした。そもそも差し押さえになっていたのも、担保としては使えませんでした。路頭に迷っていたところ、叔父の奥さんの実家が地主さんで広めの土地を担保として貸してくれました。それでも足りなくさらに助けてくれたのが隣の家の方です。その方も賃貸の駐車場を担保として貸してくれたり、当時グランド一部を近所の方から借りていたのですが、そこも貸してくれたり、その方達がいなかったら仕入れを起こすことができなかつたので、その方たちには本当に感謝しかありません。

そこから幼稚園運営が始まるのですが、その時に同時に個人立から学校法人格を取得して800人定員から当時の園児数に見合う350人定員に定め、規定の土地を確保し、およそ半分の土地を売りに出して借金を減らしたうえで運営を始めました。

借金を減らしたのですが、かなりの額が残っており暫く経営がきびしい状況が続きます。そのころは借金のことが頭から離れず不安な日々を過ごしていました。

5年ぐらいたった時にJCに出会いました。毎日借金のことしか頭になかつたのですが、JCの事業を行うことで一瞬でも借金のことを忘れることができました。JCで出会った仲間と酒を交わすことで一瞬でも笑うことができました。これは自分にとって大きくて、JCに入らなかつたら精神的につぶれていたのではないかと思います。またいろいろな経営者の方がいたのでもろんな勉強もさせてもらいました。自分にとってJCには感謝しかありませんし、入ってよかったと思っています。

そして、幼稚園でも子どもたちの元気な声や笑顔に助けられ、土地を半分売却したあとなので入園してくる園児も減ると予測していたのですが、その年も100人からの入園児が来てくれました。こんな状態になっても本園を選んでくれた保護者には感謝しかありません。笑顔で助けてくれた子どもたちのためにも本園を選んでくれた保護者として担保を貸してくれた皆さんに恩返しするためにも幼稚園を残さなければと心を決めました。

しかし、さらに障害が襲い掛かってきます。それが「少子化」です。青柳地域も一時人口が増えていた時期もあったのですが、徐々にではございますが10年で園児数が100名減ってしまいました。引き続き経営が厳しい状況が続きます。銀行から短期で借入れを起こし、補助金が入ったら返済するという運営が長年にわたって続きます。そんなギリギリの経営の中、幼稚園経営を始めて15年たった2019年大きな転機が訪れます。

「保育料の無償化」です。無償化といっても完全無償化ではなく上限が月額25,700円まで、当時の全国平均値です。保護者からいただいていた保育料が市町村からいただけるようになりました。無償化にならずにコロナに入ったらと思うとぞっとします。

緊急事態宣言の時は休園となり保護者に保育料を返さなければいけなかつたかもしれません。無償化になったことで休園にしても保育料は入ってきたので、先生たちに給料を払うことができ、先生たちの生活も守ることができました。また無償化により保育料も値上げすることができ、長年続いたマイナス経営もプラスに転じ始めます。

今現在は借入の返済が終わる2025年に園舎の建て替えを見据えて準備をしています。

父が借金を作ってしまったからと言って父を恨んでいるわけでもなく、自分がバブル期に父の立場だったらそうなっていたかもしれないということを一言加えておきます。

幼児期の子どもたちは、3年間で本当に大きな成長を見せてくれます。幼くして入園してきた子どもたちも一歩大人の顔つきになって卒園していきってくれます。子どもたちがやりたくなるまで待つ自由保育を押ししている幼稚園様もあるようなのですが、自分はちょっと違うような気がします。小学校にあがってから椅子に座ってられない子がいるようなのです。椅子に座るところから教えていかなければならない。そこで勉強についていけなくなると、勉強が嫌いになってしまう。そういう意味で我々幼児教育は大切に最低限幼稚園のうちに子どもたちに身につけてあげなければならないことを責任もって教育していかなければならないと思いますし、大げさではなく子どもたちの今後の未来も変わってきてしまうのではないかと考えております。

その最低限の教育プラスアルファで本園の特色としているところが、こちら『ゴールデンエイジ』神経系が発達する5歳から12歳までに感覚神経や運動神経が著しく発達する時期があるのですが、その時期が『ゴールデンエイジ』です。この時期で神経系の成長がほぼ成人の100%になるといわれています。その時期に集中してアプローチするだけでなく、準備段階の3・4・5歳の幼児期からアプローチした方が絶対に『ゴールデンエイジ』が生きてくるのだと感じます。そこで本園では音楽と体操を中心とした保育を行っています。長年にわたり音楽教育を行ってきたおかげで、青徳幼稚園といえば「音楽」というイメージが定着するまでになりました。

さらに各行事においてかなり時間をかけて練習を重ねていくのですが、その小さな積み重ねの大切さを身に着けて将来の選択肢の幅を広げてあげたい。そんな思いのもと保育に取り組んでいます。

そしてもう一点幼稚園を運営していく上で重要なことがあります。それは先生です。本園では音楽と体操を中心に保育をやっているとお伝えしましたが、長年培ってきた音楽の指導力、体操を指導するうえでの専門知識これが本園の強みです。本園の先生方の音楽の指導力はどの幼稚園にも引けを取らないという自負がありますし、体操指導に関しても専門知識を持った体操の先生もいるので子どもたちのための準備はできています。ここまで来るまでかなり時間はかかりました。父から代替わりしたときは、辞める先生が多かったです。1年で5人ほど退職した年もありました。なんで教員が定着しないのか悩んだ時期もありました。そんな悩みを抱えながら運営していく中で、ある出会いが訪れます。幼稚園では年少クラスが教員2名体制なのですが、経営も厳しかったので1名は正職員、1名は派遣会社から1年派遣してもらってありました。3クラスありましたので先生を3名お願いして

いたのですが、保育時間中だけの短時間の契約なのですが、お子さんが学校や保育時間中に働いているお母さん先生がほとんどだったのです。非常に落ち着いていて安心感があるというか非常に力がある先生たちだったのです。何名かお願いしていたのですが、みんな力があり子育て経験があるので、保護者も相談しやすい部分もあり評判がいい先生が多かったイメージがあります。

幼稚園業界も人手不足の中、保育の専門学校に募集をかけてもハローワークに募集をかけても一向に連絡が来ていなかったの、子育て中の先生を積極的に採用していこうと考えました。採用するにはどうしたらいいか考えた結果、子どものために気兼ねなく休みが取れる職場づくりをしていこうと思いました。幼稚園で働きたくても子どもの具合が悪い時も、未だに幼稚園や学校関係の先生は休みがとりづらい風潮があるように思います。そこを払拭しようと募集活動を続けていました。先生たちに子育てしやすい環境を作りたいとお願いしていたのですが、最初は独身の先生が不満をこぼしたりしていましたが、子育て中の先生のサポートをいつもしてくれているからプライベートで有給採っていいよとフォローしてあげていたら、次第に理解するようになってくれました。今では先生15名中10名の先生が子育て中の先生です。また、職員が辞める時には先生を呼んでくれるようにもなりました。先生が休んだ時の穴埋めのために数名余計に職員を採用し経費はかかるのですが、今はやってきてよかったと思います。今後も子育てしやすい環境を創っていきたいと思います。

青柳、八幡地区は面積が広いのですが、保育園は数園あるのですが、教育機関である幼稚園は本園しかないの、子ども達のよりよい未来のため、幼稚園を選んでくれる保護者のため、本園で働いてくれている先生や職員のためにも、これから末永く続けていけるよう努力していきたいと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

佐々木一男社会奉仕委員長



皆さんこんばんは、2件ほどございます。まずは「ふささら祭り」についてですが、お手元に資料が配られていると思います。10月22日(日)9:30~16:30まで、開催場所は松原綾瀬川公園です。先ほど会長からも話がありましたが「黄色いハンカチ」は、あと200枚程度です。必要とされるような方にお渡ししたいと思います。皆さまにはできる限りご協力いただけるとありがたく思います。黄色いジャンパーを着用で宜しくお願い致します。

もう1件は、10月29日(日)「草加松原ロータリークラブ杯卓球大会」でございます。会場は隣の草加市民体育館でございます。9:30に開会式が行われます。9時集合で委員会の皆様には是非ともご参加いただき、「目で見て、肌で感じて」いただき、明日からのロータリー人生にプラスになっていただければありがたいと思ひます。宜しくお願い致します。

幹事報告

会田小弥太幹事

こんばんは、幹事報告が1件ございます。皆様のお手元にパンフレットがあると思ひます。世界ポリオデーは10月24日です。大宮西 RC が米山学友会と合同で「世界ポリオデー」に向けて行おう企画です。パンフレットを見ていただくとわかると思ひますが、10月21日(土)、大宮ソニックシティ鐘塚公園周辺で15:00~21:30まで行われます。内容は米山学友の母国屋台料理、ポリオ根絶動画のプロジェクトンマッピング投影ポリオ根絶募金などをやるようです。今までポリオ「撲滅」と言っていましたが「根絶」に言葉が変わりました。お時間のある方は、このパンフレットに詳しく書かれていますので参加をしていただきたいと思います。宜しくお願い致します。



- 山崎 秀美会長
- 会田小弥太幹事
- 飯山 英彦会員
- 牛山 信康会員
- 北島 文康会員
- 佐々木一男会員
- 鈴木 努会員

圻田会員卓話宜しくお願い致します。10月は経済と地域社会の発展・米山月間です。圻田会員、卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。圻田一人会員、卓話ありがとうございました。今夜は圻田さんのお話し、どんなことが聞けるのか楽しみだな～圻田会員のスピーチ楽しみです。圻田会員卓話楽しみです。10月なのに寒かったり、暑かったり疲れる天気ですネ！今日は圻田さんの卓話です。楽しみにしています。圻田さんの卓話楽しみです。昨日は寒い一日でした。圻田会員卓話楽しみにしています。圻田会員、卓話ありがとうございました。圻田会員、卓話ありがとうございました。一昨日の「よさこいフェス」は大盛況でした。4年振りに草加の文化復活です。圻田一人会員の卓話を楽しみに来ました。おかげ様で10月8日の「草加よさこいサンバフェスティバル」は大成功でした。ご協力いただきました皆様、本日は圻田会員の卓話楽しみにして参りました。宜しくお願い致します。皆様本日は、ありがとうございました。圻田メンバーの卓話楽しみにしていました。本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。圻田会員、卓話ありがとうございました。

- 田川 富一会員
- 田中 和郎会員
- 富永 悟会員
- 二階堂祐司会員
- 長谷部健一会員
- 安田 洋介会員
- 圻田 一人会員
- 黒川 和彦会員
- 竹村 美保会員
- 渡辺 直之会員